

法人(事業所)理念	幸せの循環創造		
支援方針	”遊び”と”体験”で小さな「できた!」を大きな”かがやき”に変える		
営業時間	平日 10:00～19:00 土日祝・長期休暇 9:00～17:00	送迎実施の有無	あり

クラス名	本人支援	関連する5領域
ソーシャルスキルアップ クラス	身辺動作のスキルアップを支援するとともに、他者との円滑なや社会生活に必要なルールやマナーの習得をサポートする。 【健康・生活】支援例 ・手洗い、うがい、着替えなど、生活の基本動作を繰り返し練習 ・食事やトイレのマナーを通じて、日常生活に必要な行動の定着を図る ・活動の前後で自分の持ち物や身だしなみを整える習慣づけ 【運動・感覚】支援例 ・座る、立つ、歩くなどの姿勢や動きの基本を安定させるための体づくり ・指示に合わせて体を動かすことで、聴覚や視覚などの感覚と運動をつなげる練習 ・他児との距離感や接触に慣れることで、感覚の過敏・鈍感への配慮や調整を行う 【認知・行動】支援例 ・指示を理解して行動する練習(「○○したら××する」など) ・活動の手順を覚える・順番を待つ・行動を切り替えるなど、認知的な処理力の支援 ・自分の行動を振り返る(できた／できなかった)経験から、自己調整力を育てる 【言語・コミュニケーション】支援例 ・あいさつ、お願い、謝る、断るなど、日常場面での基本的なやり取りの練習 ・遊びやロールプレイを通じて、状況に応じた言葉の使い方を身につける ・相手の言葉を聞く、応答するなど、双方向のコミュニケーション力を育てる 【人間関係・社会性】支援例 ・グループ活動を通じて、順番・交代・役割などの基本的な社会的ルールを体験 ・他児との関わり(「貸して」「いいよ」「いっしょにやろう」など)を実践的に練習 ・他者の気持ちを意識したり、自分の気持ちを伝える力を育む	

運動療育クラス	立つ、走る、跳ぶといった全身を使う粗大運動や、体幹トレーニングを取り入れた活動を提供する。 【健康・生活】支援例 ・姿勢の安定やバランス力の向上を通じて、食事・排泄・着脱など生活動作のしやすさを高める ・運動習慣の形成により、体力の向上や生活リズムの安定を促す 活動の前後に汗を拭く、水分補給をするなど、生活習慣を意識するきっかけづくり 【運動・感覚】支援例 ・立つ、走る、跳ぶ、登る、バランスを取るなど、粗大運動による身体機能の向上 ・感覚統合を意識した運動(揺れる・転がる・押す・引くなど)による感覚の調整をサポート ・「からだをどう使えばいいか」の理解を促し、動きへの苦手意識の軽減につなげる 【認知・行動】支援例 ・指示に合わせて動く・止まるなどのルールある活動によって、行動のコントロール力を育てる ・課題に取り組む順番・手順の理解を促し、見通しを持って行動できる力を育成 ・繰り返し挑戦することで、集中力やあきらめずにやり抜く力の育成 【言語・コミュニケーション】支援例 ・活動中のやりとり(「よーい、ドン!」「がんばれ!」など)を通じた言葉の模倣ややりとり ・動作に関する語彙(ジャンプ・ストップ・バランスなど)の理解・定着 ・ルールや順番の説明を「聞いて理解する力」や「伝える力」を伸ばす場面の提供 【人間関係・社会性】 ・チーム対抗を通じて、協力・順番待ち・応援などの関わり方を経験 ・活動中の衝突や譲り合いなどから、社会性の土台となる行動(我慢・交渉など)を学ぶ ・成功体験やみんなと楽しむ経験を通じて、自信や仲間意識を育てる
クリエイティブ クラス	手や指先を使った微細運動を取り入れ、表現力や集中力の向上をサポートする。 【健康・生活】支援例 ・ハサミや箸、クレヨンなどの道具操作を通じて、生活動作に必要な手先の使い方を練習 ・活動に取り組む姿勢(座って取り組む、時間を守るなど)の習慣づけ 【運動・感覚】支援例 ・微細運動(ちぎる・貼る・切る・描く・縫うなど)による手指の巧緻性の向上 ・感覚刺激(粘土・絵の具・紙の手触りなど)への慣れ 【認知・行動】支援例 ・工程や手順を理解し、順序立てて作業する力の育成 ・作品を完成させる中で、集中力・持続力を育む ・作業中に「待つ」「選ぶ」「やり直す」などのスキルの習得 【言語・コミュニケーション】支援例 ・作品の説明や材料選びを通じて、自分の思いや考えを言葉にする力を育てる ・他児とのやりとり(「かして」「どうやるの?」など)を通じた言語的関わり 【人間関係・社会性】支援例 ・共同制作や作品の見せ合いを通して、他児との交流や感情の共有を経験 ・他児の表現を認める・参考にすることで、認め合いや共感の態度を育む ・自分の表現を通じて「自分らしさ」や「違い」を大切にする力を育てる

特別活動クラス	インクルージョン推進、ソーシャルスキルの実践的トレーニングを狙いとして、余暇活動や地域交流の機会を提供する。 【健康・生活】支援例 ・外出時の準備(靴を履く、帽子をかぶる、荷物を持つ)など、生活動作の実践 ・公共の場でのマナー(手をつなぐ、静かにする、順番を待つなど)を体験的に学ぶ ・活動前後に水分補給や手洗いをを行うことで、衛生・健康習慣の定着を促す 【運動・感覚】支援例 ・公園遊び、外出先での散歩や移動などによる基本的な運動経験の拡充 ・屋外や人の多い場所での感覚刺激(音・におい・光など)に慣れる機会の提供 ・落ち着ける空間や切り替えの工夫を取り入れ、クールダウンする力を育てる 【認知・行動】支援例 ・活動のスケジュール理解による見通しのサポート ・決められたルールに沿って行動する力の向上 ・予期せぬ出来事(音が大きい、予定変更など)への対応を通じて柔軟性や行動の切り替え力を育てる 【言語・コミュニケーション】支援例 ・実際の場面で「お願い」「ありがとう」「ごめんね」など社会で必要な言葉を使う練習 ・店員や地域の人とやりとりする中で、聞く・伝える力を実践的に伸ばす ・活動後の振り返りで「何が楽しかった?」「どうだった?」と表現力を育てる 【人間関係・社会性】支援例 ・地域の人と経験を通じて、「人と関わる楽しさ」や「社会の一員である意識」を育む ・グループ行動の中で、順番、協力、他者への配慮などのスキルを実践的に学ぶ ・他者の存在を意識し、自分の気持ちと相手の気持ちの違いに気づききっかけをつくる
就学準備クラス (未就学児対象)	個々の課題やご要望を伺い、個別や小集団のトレーニングを提供する。 【健康・生活】支援例 ・着替え、排泄、食事など、学校生活に必要な基本的な生活習慣の自立支援 ・時間に合わせて行動する習慣の形成 ・教室内での姿勢保持や、決まった席で落ち着いて過ごす練習 【運動・感覚】支援例 ・正しい姿勢で座るなど、姿勢保持のトレーニング ・鉛筆を持つ、はさみを使うなど、微細運動のトレーニング ・感覚の過敏さや鈍さへの配慮をしつつ、適切な感覚刺激に慣れる取り組み ・体を動かす活動(準備運動・体操など)で、ストレスの発散や切り替えの支援 【認知・行動】支援例 ・指示を聞いて行動する、順番やルールを守るなどの行動をコントロールする力の習得 ・スケジュールや手順の理解・見通しを持って行動する力の育成 ・活動への集中、課題への取り組み継続を通じた認知機能の強化 【言語・コミュニケーション】支援例 ・ごっこ遊びやゲームを通じた語彙力・表現力の向上 ・活動の説明を聞いて理解する、自分の考えを伝える練習 【人間関係・社会性】支援例 ・小集団での活動を通じて、他児と関わる土台(あいさつ、譲る、協力するなど)を育む ・小学校を模した環境で、「自分の番を待つ」「他の子に注目する」など集団参加スキルの習得

家族支援
・子どもの感情や不安に寄り添い関係性を築き、家族や周囲の人と安定した関係を継続するためのサポートを行う。 ・子育てや今後の進路についての聞き取りを行い、困りごとへの相談援助を行う。 ・家庭での様子、ドットジュニアの様子を共有し合う。
地域支援・地域連携

・子どもが利用する障害児相談支援事業所や他の障害児通所支援事業所と情報交換をしながら支援の統一化を図る。 ・必要に応じて、担当者会議やケース会議などを開催し、情報収集や役割分担について協議する。
移行支援
・家庭や移行先、ドットジュニアでの本人の様子を共有し合い、入園・入学時のサポートを行う。 ・地域の公園や図書館等への外出プログラムを提供し、地域における同世代の子どもと関わる機会を設ける。
職員の質の向上
・職員の知識と支援技術の向上を目指した研修の実施。
主な行事等
・初詣、節分、ひな祭り、こどもの日、夏祭り、ハロウィーン、クリスマス会 など季節に応じた活動。

作成日

令和7年 7月 22日